

令和6年度

施政方針



本日ここに、令和6年深谷市議会第1回定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参会を賜り、令和6年度一般会計当初予算案をはじめ、市政の重要案件についてご審議をいただきますことに、心から感謝申し上げます。

初めに、令和6年1月1日に石川県で発生しました「令和6年能登半島地震」におきまして、お亡くなりになられた方々のご冥福を、心からお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。市といたしましても、災害義援金をはじめとする諸施策を通じて、復興に向けた歩みを、全力で後押ししていく所存であります。被災された全ての皆様が、1日も早く平穏な日常を取り戻せるよう、願っております。

また、翌1月2日には、羽田空港におきまして航空機事故が発生し、海上保安庁の職員5名がお亡くなりになりました。このことは、たいへん残念であり、心よりご冥福をお祈りいたします。

自然災害の頻発化、激甚化につきましても、かねてより危惧されていたところではありますが、実際に今回発生した地震の惨状を知り、改めて災害への備えの重要性と、その責任の重さを痛感しております。

私は、市政を預かるものとして、市民の皆様の生命や財産を守り、誰もが安全に安心して暮らせるよう、引き続き万全を期していく所存であります。

さて、昨年を振り返りますと、海外においては、ロシアのウクライナ侵略が始まって、2年が経過いたしますが、今もなお、和平には至っておらず、また、イスラエルとパレスチナでも衝突が発生するなど、不安定な国際

情勢が続いていることは、非常に残念に感じております。また、このような国際情勢は、原油価格の高騰など、世界中の経済に大きな影響を与えており、我が国においても、輸入製品を中心とした原材料費の上昇が物価を押し上げ、現在も、家計に重い負担がかかっております。

こうした状況に対処するため、市といたしましても、国の物価高騰対応重点交付金を活用し、低所得世帯や子育て世帯などへの給付金や、農業従事者、市内運送事業者などへ向けた支援金など、緊急的な経済対策を速やかに実施してきたところであります。これにより、市民の皆様の経済的な安心感の確保や、生活への不安感の軽減に、多少なりとも貢献できたのではないかと考えております。

また、国内に目を向けますと、令和4年の出生者数が、統計開始以来、初めて80万人を割り込み、合計特殊出生率は過去最低の1.26まで低下いたしました。この現象は、社会構造の変化や少子高齢化など、様々な要因によるものであり、国や地方自治体の将来に、深刻な影響を及ぼすことが懸念されており、こうした状況は、本市におきましても例外ではありません。

このような重大な社会問題に対応するため、国では「こども家庭庁」を新設し、「こどもまんなか社会」の実現を目指す取り組みが始められております。

市といたしましても、子育てしやすい環境づくりの一環として、県内でもいち早く妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を進めてきたほか、県内で初となる保育料完全無償化や、「教育と子育てを支える拠点」として幼稚園・こども館複合施設の建設に着手するなど、子育て世代の負担軽減、

及び、子育て環境の充実を積極的に進めております。

このような中、世界的な明るい話題としましては、5月に開催された
ジーセブン
G 7 広島サミットにおいて、「法の支配」というテーマの^{もと}下、^{ジーセブン}G 7 諸
国の結束や途上国との連携が強化されました。また、スポーツ界では、野球
のワールドベースボールクラシック、いわゆる^{ダブルビーシー}W B C で日本代表の侍ジ
ャパンが3大会ぶりに優勝し、日本国内に元気と笑顔を届けてくれました。

国内におきましては、新型コロナウイルス感染症の分類が引き下げら
れ、行動制限が解除されたことで、人々の移動が活発化し、経済の活性化に
つながったところでもあります。

市におきましても、ふかやシティハーフマラソンや、ふかや花フェスタ
などのイベントを4年ぶりに開催することができ、地域経済の活性化と、社
会参加による市民相互の交流を深めることができました。

さらに、企業版及び個人版のふるさと納税による、たくさんの皆様のご
協力により、主要プロジェクトを中心とした取り組みを推進できたほか、埼
玉工業大学や民間企業とともに、深谷自動運転実装コンソーシアムの協定を
締結し、労働力や人口の減少を見据えた官民連携の取り組みを、実施してき
たところでもあります。

そして、何より、令和5年も、郷土の偉人渋沢栄一翁が、深谷市の背中
を大きく押してくださいました。8月には、旧渋沢邸「^{なかんち}中の家」がリニュー
ーアルオープンし、渋沢栄一アンドロイド・シアターをお披露目することが
できました。来場者数は、^{ひとつき}わずか一月足らずで1万人を超え、多くの方が
深谷を訪れ、栄一翁の魅力に触れることができたと考えております。

また、11月には、栄一翁の精神を現代に活かす、郷土の偉人フォーラムを開催し、^{ダブルビシー}WBC優勝監督の^{くりやまひでき}栗山英樹さんをお招きし、ご講演もいただきました。これにより、栄一翁の精神が、様々な分野に影響を与えていることが示され、現代社会においても、その価値が再認識されたところであります。

そして、令和5年4月には、栄一翁の精神とSDGsの目標を踏まえ、持続可能なまちづくりを目指す、第2次深谷市総合計画後期基本計画がスタートいたしました。さらに、渋沢栄一翁の教えを踏まえたSDGsの実践に向けた取り組みが国に認められ、SDGs未来都市に選定された年でもありました。

私は、この後期基本計画、そして、SDGs未来都市計画に掲げた「誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや」を実現するべく、SDGsの実践を進め、市政の発展に全力を傾^{けいちゆう}注する所存であります。

それでは、議会開会の冒頭にあたり、私の市政運営に臨む基本的な姿勢を申し述べたいと存じます。

今後もさらに不透明な社会経済情勢が続く中で、持続可能な財政運営に努めるとともに、少子高齢化による人口減少に対応した市政運営が求められております。

私は、この状況に的確に対応していくため、市の魅力をさらに磨き上げ、住み続けたい、住んでみたいと思ってもらえるまちを実現できるよう、3つの視点から、全力で取り組んでまいります。

第1に、「渋沢栄一翁の功績を活かしたまちづくり」であります。

おり折しも、令和6年7月には、栄一翁が肖像となる新一万円札が発行されます。これは、市にとってたいへん名誉なことであり、全国的にも注目される歴史的な瞬間を迎えることとなります。

私は、これを^{せんざいいちぐう}千載一遇のチャンスと捉え、市をあげて盛り上げるために、栄一翁の一万円札発行を記念する各種イベントを積極的に展開してまいります。

新札発行の時期に合わせた祝賀イベントはもとより、夜空を彩る花火大会、熱気あふれる大相撲春巡業深谷場所、そして、心温まる、新・BS日本のうたの公開収録の開催など、市民の皆様と一緒に特別な時を祝い、市の活性化につなげてまいります。

さて、栄一翁は、その生涯において、論語の精神から学んだ「忠恕の心」を持ち続け、日本の近代化に大きく貢献いたしました。

そのため、第2次深谷市総合計画後期基本計画におきまして、「渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト」を掲げ、引き続き、渋沢栄一ひとづくりフォーラムや渋沢栄一ひとづくりカレッジを開催し、栄一翁の功績と精神を現代に活かす取り組みを実施してまいります。

また、各種メディアを通じて「渋沢栄一^{イコール}深谷市」というイメージを全国に広め、栄一翁及び、市の認知度とイメージを向上させるとともに、これらの取り組みが全国的な盛り上がりにつながるよう、努めてまいります。

さらに、深谷市の未来を担う子どもたちに対して、栄一翁の功績とチャレンジスピリットを次世代に伝えるため、「立志の精神」と「忠恕の心」を

受け継ぐ教育にも、引き続き取り組んでまいります。

第2に、「子育てに重点を置いたまちづくり」であります。

埼玉県初の児童福祉施設である埼玉育児院は、栄一翁の資金援助により経営を軌道に乗せ、子どもの心身の健やかな成長と、自立を支援する施設として、今もなお活動を続けているところであります。

私は、この栄一翁の考えを継承し、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施するため、妊娠から出産、子育てまでの継続した支援を行い、県内初となる保育料完全無償化を引き続き実施するほか、新たに子育て家庭を包括的に支援する、こども家庭センターを設置するなど、安心して子どもを育てられる環境づくりを積極的に進めてまいります。

さらに、子どもたちが安心して遊び、学ぶことができ、保護者同士が交流できる「こども館」としての機能と、充実した保育サービスを提供する「幼稚園」としての機能を併せ持つ、県内最大級の「幼稚園・こども館複合施設」の建設に着手してまいります。

また、教育面におきましては、外国語教育の支援をする英語指導助手エイエルティールALTや、通常の学級に在籍し、特別なサポートが必要な子どもたちを手助けするインクルーシブ支援員などの増員を図り、児童や生徒の様々なニーズに対応してまいります。さらに、小学校学習支援員を新たに配置し、低学年児童の一人ひとりに応じた指導や、基礎基本の確実な定着を図ることにより、確かな学力の育成につなげてまいります。

第3に、「福祉に重点を置いたまちづくり」であります。

栄一翁は、東京養育院の院長に就任し、生活困窮者や身寄りのない児童

の保護にも尽力し、福祉分野で多大な貢献をいたしました。

市といたしましても、こうした栄一翁の考えを継承し、複雑で複合的な課題を抱える市民一人ひとりに寄り添った支援を行うため、新たに、福祉総合相談窓口を設置してまいります。また、令和8年度を始期とする第4次深谷市地域福祉計画の策定に着手し、いつまでも、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、互いに支え合える地域づくりを積極的に進めてまいります。

私は、これまで、大好きな深谷をもっと良くしたいという思いと、未来を見据えて、計画的なまちづくりを行いたいという思いで、市政運営に取り組んでまいりました。今後も初心を忘れず、緊張感をもって、「誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや」さらには、「元気と笑顔の生産地 ふかや」の実現に向け、全力を尽くしてまいりたいと存じます。

それでは、本日までご提案いたします「令和6年度当初予算案」の概要につきましてご説明申し上げます。

まず、歳入の根幹である市税につきましては、コロナ禍からの経済社会活動の正常化を踏まえて見込んでおります。

一方、歳出につきましては、医療や福祉などに係る扶助費の伸びや、物価高騰等への対応により、増加傾向が強くなっております。

このような状況下ではありますが、令和6年度は、令和5年度からスタートした第2次深谷市総合計画後期基本計画に基づく各施策の推進を、さらに加速させるための予算を編成したところであります。

その結果、令和6年度の予算案は、一般会計では576億418万円、前年度に比べ6.5%の増、特別会計及び企業会計では311億8,735万7千円、前年度に比べ1.7%の増となったところであります。

令和6年度一般会計予算案の主な内容であります。まず、歳入のうち市税につきましては、188億978万円、前年度に比べ0.1%の増を見込んだところであります。また、地方交付税につきましては、81億7,200万円、前年度に比べ2.3%の増を見込んだところであります。

なお、各種基金からの繰入金や市債につきましては、事業執行のために所要の金額を見込んだところであります。

次に、歳出などの主な内容であります。第2次深谷市総合計画後期基本計画に掲げた「まちのイメージ」に沿って、ご説明申し上げます。

はじめに、子育て・保健・福祉の分野「健康でいきいきと暮らせるまち」について申し上げます。

子育て支援に関しましては、保育料の完全無償化や^{ゼロ}0歳児子育て支援金の支給のほか、産婦健診費用を2回目分まで補助するなど、引き続き子育て世帯の経済的負担の軽減を図ってまいります。

さらに、児童福祉と母子保健両部門の連携や協働を深め、虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた支援など、一体的な相談支援体制の強化を図るため、こども家庭センターを設置してまいります。

保健、健康づくりに関しましては、小児がん等により、造血細胞移植を受けた方に対しまして、再接種が必要な予防接種費用の一部を、引き続き補

助してまいります。また、がんの治療に伴う外見変化に悩む方に対し、心理的、経済的負担の軽減を図るため、ウィッグや胸部補整具の購入費用の一部を補助してまいります。

地域福祉に関しましては、包括的な相談支援体制を整えた、福祉総合相談窓口を新たに設置することにより、市民の複雑化、複合化した支援ニーズに対応してまいります。さらに、互いに支え合う地域づくりを支援するため、令和8年度を始期とする第4次深谷市地域福祉計画を策定してまいります。

高齢者福祉に関しましては、引き続き、敬老事業として記念品の配布を行うほか、高齢者の社会参加や地域住民との交流の機会を創出するため、地域団体が実施する敬老への取り組みに対し、新たに補助金を交付してまいります。また、引き続き、高齢者の介護予防を目的とした、住宅改修工事費用の一部を助成することにより、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援してまいります。

障害者福祉に関しましては、引き続き、自動車などの燃料費補助を実施するとともに、医療費の助成や、各種手当の支給、また住宅改修への補助を引き続き実施することにより、障害者の日常生活に対する支援を行ってまいります。

続きまして、教育・文化の分野「次代を担う人と文化を育むまち」について申し上げます。

幼児教育に関しましては、令和8年4月の幼稚園・こども館複合施設のオープンに向け、建設工事に着手してまいります。

学校教育に関しましては、外国語の指導を支援する英語指導助手^{エイエルディー} A L T や特別支援補助員、学校福祉相談員につきましても、さらに増員することにより、児童生徒のニーズに対応したきめ細やかな支援を進めてまいります。

学校施設の整備に関しましては、夏の暑い日においても、子どもたちが快適に学習でき、災害時には、市民が安心して避難できる環境を整えるため、中学校体育館のエアコン設置に向けた設計を行ってまいります。また、子どもたちが快適に生活できるよう、小中学校の全てのトイレの洋式化を目指し、令和6年度につきましては、桜ヶ丘小学校及び、上柴中学校のトイレ洋式化工事を実施してまいります。さらに、岡部中学校北校舎の防水改修工事を実施してまいります。

公民館に関しましては、子どもから高齢者まで、幅広い世代が愛着を持って利用でき、生涯学習活動や地域活動の新たな拠点となる複合施設「ワモア川本」を、令和6年4月にオープンしてまいります。

渋沢栄一翁関連事業に関しましては、栄一翁が肖像となる新一万円札の発行を記念し、先に申しあげました祝賀イベントなどの事業により、「渋沢栄一^{イコール} = 深谷市」というイメージを定着させてまいります。

文化振興に関しましては、国指定の重要文化財である、ホフマン輪窯の耐震補強工事を進めるとともに、新札発行にあわせて、建物内の一部を公開してまいります。さらに、輪窯内で、映像を駆使した展示や飲食ができるように整備を進めるとともに、輪窯を紹介するシアターやガイド機能、そして厨房機能を備えた管理活用棟の設計に着手し、市の観光拠点として地域

の発展につなげてまいります。

続きまして、産業振興の分野「活力とにぎわいにあふれるまち」について申し上げます。

農業振興や農畜産物のPRに関しましては、農業従事者の減少や耕作放棄地の拡大といった課題を解決するため、将来の農地利用の姿を明確化する、地域計画を策定してまいります。また、深谷グリーンパークのさらなる有効的な活用を図るため、民間活力の導入可能性調査を実施いたします。さらに、様々な機会を通じて、深谷ねぎや新たに指定野菜となるブロッコリーなどの「ふかやの野菜」をはじめとした農畜産物を広く周知し、農業王国ふかやとしての地位を確立してまいります。

農業経営者の支援に関しましては、所得の安定及び持続的な地域農業の発展を図るため、引き続き、収入保険への新規加入時における保険料の一部を補助してまいります。

商工振興に関しましては、起業に要する経費への補助や、中小企業による経営革新計画の策定を促進するため、引き続き奨励金を交付し、市内産業の活性化を図ってまいります。

観光振興に関しましては、各施設を訪れた観光客に、市内を回遊していただけるよう、体験型プログラムを提供する「深谷えん旅」のほか、市全体を、野菜を楽しめるテーマパークに見立てた、「ベジタブルテーマパークフカヤ」の取り組みを引き続き実施してまいります。

産業価値の創出に関しましては、令和5年10月に開設した、人と情報

のハブとなるアグリテック交流施設「アグリ：code 2 2 ^{アグリ コードツーツー フカヤ} 深谷」を活用し、企業や生産者、農業関係団体などのマッチングを図り、本市へのアグリテック企業集積の実現を目指してまいります。また、地域通貨ネギーを活用し、地域内経済を循環させるほか、令和5年度から開始した、ネギーチャレンジの取り組みにより、市民の行動変容を促し、行政だけでは対応できない課題の解決に取り組んでまいります。

続きまして、暮らし・環境の分野「安心とやすらぎを感じられるまち」について申し上げます。

防災対策に関しましては、防災行政無線の屋外子局^{おくがいこきょく}に避雷器を増設し、落雷による故障により放送ができない事態の軽減を図ってまいります。これにより、情報伝達を確実にできるよう機能強化を行うとともに、引き続き、避難所の確保や防災情報の周知に努め、市民の皆様命を守る取り組みを行ってまいります。

消防・救急体制に関しましては、消防力を維持しながら、より効率的で効果的な消防、救急活動が実施できるよう、花園消防署を分署として再編し、深谷消防署の指揮系統に統合するほか、水槽付消防ポンプ自動車などを更新してまいります。さらに、小学生を対象としたジュニア救命士の講習を新たに行い、家庭での応急手当の普及や将来的な救命率の向上を図ってまいります。

防犯に関しましては、引き続き、詐欺被害防止機能付電話の無償貸与やふかや防犯協力店、みまもり自販機などの取り組みを継続し、地域の防犯体制の強化を図ってまいります。

空き家問題に関しましては、老朽化した空き家の解体に対する補助を継続するとともに、農地付き空き家に対するリフォーム補助を引き続き実施し、移住促進と農地付き空き家の利活用を図ってまいります。

自治会活動に関する支援に関しましては、引き続き自治会館の改修費用及び空調設備工事費用などの補助を行い、地域コミュニティを醸成するための支援を行ってまいります。

環境対策に関しましては、深谷市環境基本計画に基づき、地球温暖化対策を推進するため、引き続き、住宅用省エネ設備などの購入に対し補助金を交付するとともに、環境に配慮した公用車を導入してまいります。

続きまして、都市・生活基盤の分野「快適で利便性の高いまち」について申し上げます。

市街地整備をはじめとした住環境の形成に関しましては、人口減少に対応した持続可能なまちづくりを進めるとともに、誰もが暮らしやすい快適な生活環境の実現を目指して、引き続き、都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づいた都市基盤整備を実施してまいります。また、市営緑ヶ丘住宅の改修工事などにより、老朽化した市営住宅の改修を計画的に行い、入居者が安心して生活できる環境を整備してまいります。

土地区画整理事業に関しましては、中央地区において、レンガ通りの整備を進めるとともに、国済寺地区では、調整池^{ちょうせいち}や街路の整備などを進め、より快適な居住環境の創出を目指してまいります。

水道の整備に関しましては、震災などの災害時に重要な役割を担う医療

機関や防災拠点への水道管の耐震化などを引き続き進めてまいります。

下水道の整備に関しましては、引き続き、岡部地区、小前田地区及び、
はちまん
八幡地区の整備を進めてまいります。

農業集落排水の整備に関しましては、三浦地区集落排水処理施設の機能
強化事業に着手してまいります。

道路の整備に関しましては、深谷の南北交通の円滑化を図るため、原郷
上野台線の整備に係る雨水管の切り回し工事及び、線路下の横断工事を引き
せんろした
続き進めてまいります。

橋りょうの整備に関しましては、深谷市 橋 梁 ^{きょうりょう}長寿命化修繕計画に基づ
き、優先度の高い橋りょうから計画的に修繕を実施し、安全性を確保してま
いります。

公園の整備に関しましては、深谷テラスパークの利用者がより安全に、
安心して楽しめるよう、大型遊具の周辺に人工芝を整備いたします。また、
公園施設の計画的な維持管理の方針を明らかにし、長寿命化対策を ^{ていれん}低廉な
コストで実施できるよう、新たに、深谷市公園施設長寿命化計画の策定に着
手してまいります。

河川の整備と排水対策に関しましては、高畑地区の冠水対策として測量
調査を進めるとともに、引き続き、大堀川の改修工事及び、横瀬川の ^{しゅんせつ}浚
工事、ならびに豊里地区の ^{うすいちようせつち}雨水調節池の整備を実施してまいります。

公共交通に関しましては、岡部駅の利便性の向上を図るため、橋上化の
早期実現に向け、J R 東日本高崎支社との基本協定締結に向けた協議を進め
てまいります。また、コミュニティバス「くるリン」の北部シャトル便の運

行を再編するとともに、新たに導入を目指す、自動運転バスの実証運行を進めるほか、公共交通サービスの拡充に向けた、新規バス路線の検討を進めてまいります。

最後に、協働・行政経営の分野「みんなで創る協働のまち」について申し上げます。

人権問題に関しましては、「深谷市犯罪被害者等支援条例」を新たに制定し、犯罪被害者への支援を実施してまいります。また、多様な性に対する理解不足による差別や偏見などの課題に対応していくため、「深谷市性的指向及び性自認の多様性を理解し尊重する社会の推進に関する条例」に基づき、引き続き、関係機関と連携し各種取り組みを行ってまいります。

移住定住に関しましては、まちづくりを通して、市の魅力を知っていただくとともに、移住支援金や結婚新生活支援金の制度を実施し、移住者などへの経済的負担の軽減を図ってまいります。

情報発信に関しましては、令和5年12月に運用を開始した「深谷市公式LINE」を活用し、より一層、市民に届きやすい情報発信を行ってまいります。また、栄一翁が新一万円札の肖像となるこの機を確実にとらえ、市の魅力を全国に発信し、市の認知度とイメージの向上を目指してまいります。

協働のまちづくりに関しましては、引き続き、ウェブサイト「^{わざかつ}技活」による人材バンク登録者の動画紹介を行い、活用希望者とのマッチングを図ってまいります。また、深谷テラスパークを会場として、「ふかや花フェスタ」を開催し、「花のまちふかや」のさらなる発信を行い、市内回遊へとつなげてまいります。

持続可能な行政運営に関しましては、市民の皆様の利便性を向上させるため、先進的な事例である「書かない窓口」の取り組みの拡大を図るとともに、各種手続きのオンライン申請を広く浸透させてまいります。

また、新たに電子契約を導入し、内部事務及び、契約相手方の事務の効率化を図ってまいります。さらに、企業版及び個人版のふるさと納税制度を有効に活用し、自主財源の確保を積極的に進めるなど、持続可能な行政運営を推進してまいります。

以上、歳出などの主な内容につきまして、ご説明いたしました。

栄一翁は、「人は死ぬまで同じことをするものではない。理想に^よって生きるのが、^{しゅみ}趣味ある人の行動である」という言葉を残しております。

私は、この言葉を「人は、一生を通じて同じことのみを繰り返す運命にあるわけではない。自分の理想を掲げ、その理想に向かい、変化を恐れずに歩みを進めることが素晴らしい」という意味と捉えております。

この言葉を胸に、市民の皆様一人ひとりが自分の夢や理想に向かって、チャレンジできるまちづくりを進めるとともに、私自身も、より一層努力を重ね、さらに魅力的なまちになるよう取り組んでまいります。

そのために、市民の皆様の様々な声をしっかりととらえ、課題解決に向けて市政を運営してまいりたいと存じますので、議員並びに市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以上で、私の令和6年度施政方針の表明といたします。

※この文章は口述筆記ではありません。

表現その他に若干の変更がありました場合は、ご了承ください。

